

小児科

遺伝科

TEL 022-717-7744 (外来) 完全予約制



科長
青木 洋子 教授



地域の先生方へ

遺伝科外来は完全予約制となっております。ご紹介の前に紹介の目的や内容を確認させて頂いておりますので、ご紹介の際は外来までお電話をお願いします。



診療科WEB



外来担当医表

診療内容

近年、遺伝子・ゲノムに関する研究が急速に進歩し、保険収載での遺伝学的検査が可能になった疾患も増加し、遺伝医療の範囲が急速に拡大しています。さらに、遺伝性疾患は自分自身だけでなく血縁者に共通な問題であることが多いため、その心理面に十分な配慮した対応が必要になります。このため、遺伝の関わる疾患に対しての正確な情報を説明し、検査の事、あるいは今後の事を共に相談していくプロセスを、「遺伝カウンセリング」と呼びます。

遺伝カウンセリングでは、臨床遺伝専門医・指導医を含む複数の医師と認定遺伝カウンセラーが十分な時間をかけて問題点や不安に感じている点を伺います。初診時は、約1時間から1時間30分の診療時間が必要となります。そのため、完全予約制で毎週木曜日午後を初診の方の診療日としています。

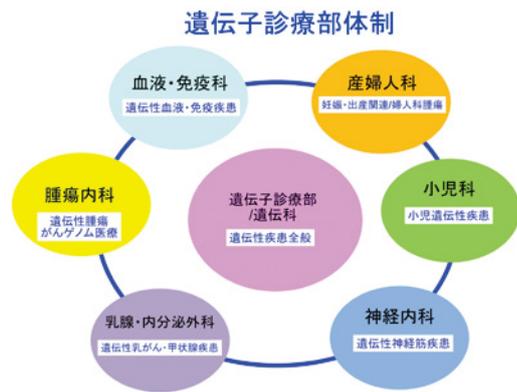
2015年3月に東北大学病院内に診療科横断的な診療部門として遺伝子診療部が立ち上がりました。遺伝科を中心として腫瘍内科、血液内科、脳神経内科、総合外科乳腺・内分泌グループ、産婦人科、小児科が遺伝子診療部を形成し、連携して診療を行っています。

得意分野

当科の研究によって世界で初めて病因となる遺伝子を見つけた希少難病が数多くあります。このような研究背景をもとに、保険収載遺伝学的検査の提出や解釈、未診断疾患プロジェクト(IRUD)、個別化医療センターでのがん遺伝子パネル検査との連携・診療科支援を行っています。また、東北大学病院は臨床遺伝専門医の研修病院の一つに認定されており、臨床遺伝専門医の資格取得をめざす医師が日々研鑽を積んでいます。大学院医学系研究科と共同して、遺伝専門職である認定遺伝カウンセラーを養成しています。

主な対象疾患

遺伝性疾患全般(周産期、小児科、成人期、
遺伝性腫瘍)の遺伝カウンセリング



遺伝子診療部体制